



令和3年10月8日
千葉県健康福祉部疾病対策課
043-223-2672

感染症予防のための情報提供について

病名	レジオネラ症																						
住所	市原市	年齢・性別	76歳・男性																				
職業	不明	症状等	意識障害・肺炎																				
発病年月日	不明	届出年月日	令和3年8月13日																				
<p>令和3年8月13日に市原市内の医療機関に入院し、市原保健所に発生の届出があった患者が、同年9月1日にレジオネラ肺炎により死亡した。</p> <p>〔患者発生の経過〕</p> <p>8月13日 自宅で倒れているところを発見され救急搬送。 市原市内の医療機関に入院。 脱水、意識障害、肺炎像あり、人工呼吸器管理となる。 検査の結果「レジオネラ症」と診断され、同日、市原保健所に患者発生の届出があった。</p> <p>9月 1日 レジオネラ肺炎により死亡。</p> <p>〔調査事項〕</p> <p>市原保健所が積極的疫学調査を実施したが、感染源・感染経路等、原因の特定には至らなかった。</p> <p>〔県内の発生状況（レジオネラ症）〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>届出数</th> <th>H29年</th> <th>H30年</th> <th>H31・R1年</th> <th>R2年</th> <th>R3年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>千葉県</td> <td>65</td> <td>101</td> <td>110</td> <td>97</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>全国</td> <td>1,731</td> <td>2,142</td> <td>2,316</td> <td>2,013</td> <td>1,446</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和3年の千葉県分は10月8日現在（本件を含む）、全国分は9月26日現在。</p>						届出数	H29年	H30年	H31・R1年	R2年	R3年	千葉県	65	101	110	97	62	全国	1,731	2,142	2,316	2,013	1,446
届出数	H29年	H30年	H31・R1年	R2年	R3年																		
千葉県	65	101	110	97	62																		
全国	1,731	2,142	2,316	2,013	1,446																		
<p>（県民の皆様へ）</p> <ul style="list-style-type: none"> レジオネラ症の感染源となりうる冷却塔、循環式浴槽（24時間風呂・温泉利用施設・ジャグジー等）、循環式給湯、加湿器（超音波加湿器）の衛生的な管理を行い、菌の増殖を防止しましょう。 適切な抗菌薬の投与により治療可能ですが、治療が遅れると重症化し、死亡することもあります。有症状の場合は、速やかに医療機関を受診しましょう。特に、重喫煙者、透析患者、糖尿病等の患者はリスクが高いとされていますのでご注意ください。 																							

【参考】

レジオネラ症とは

レジオネラ属菌による細菌感染症で、その病型は劇症型の肺炎と一過性のポンティアック熱がある。

1 感染経路

- 土壌、冷却塔水、プール、池、噴水、温泉水、24時間風呂に分布する病原体のエアロゾル吸入、誤嚥による経気管、気管支的感染。
- 人から人への感染はない。

2 病原体

- レジオネラ属菌、特にレジオネラ・ニューモフィラによることが多い。

3 潜伏期間

- レジオネラ肺炎の場合、2～10日（平均4～5日）
- ポンティアック熱の場合、1～2日（平均38時間）

4 症状

- レジオネラ肺炎の場合、発熱、咳、喀痰、呼吸困難等
- ポンティアック熱の場合、発熱、咳、筋肉痛、頭痛。
（呼吸器症状は軽微）

5 治療

- レジオネラ肺炎の場合、抗菌薬療法
- ポンティアック熱の場合、対症療法、抗菌薬療法は不要